

## ヒューマンコミュニケーション～ヒト・モノ・トコロを紡ぐ 豊かな情報を発信する ICT ～論文特集の発行にあたって



ヒューマンコミュニケーション～ヒト・モノ・トコロを紡ぐ  
豊かな情報を発信する ICT ～論文特集編集委員会

委員長 新井田 統

高度情報化社会の発達により、情報通信技術（ICT）が多くのユーザに利用されるようになった。ICTは、PCや携帯電話といった情報端末だけでなく、家電品や玩具、医療機器、環境機器など、ユーザの日常に関わる機器を通じて、人々の生活に深く関わっている。こうした中で、ユーザにとって便利で使いやすく安全でかつ楽しいICT社会を生み出すには、新しい技術や手法を生みだし、人の感覚や知覚、認知、思考の特徴を理解して利用者の視点を捉え、ICTが使用される環境や社会、文化との関係を考慮しながら、これからのICTについて分野横断的に議論する必要がある。

こうした分野横断的な最新の研究成果を広く会員に伝えることを目的として、今回特集を企画した。HCGでは、これまでにも和文論文誌にて5回、英文論文誌にて3回のヒューマンコミュニケーション特集を組んでいる。

本特集には、一般論文、レターを合わせて34編の投稿があった。厳正な査読を行った結果、一般論文8編、レター3編を採録した。これらの論文は、ヒューマンコミュニケーション基礎、ヒューマン情報処理、ヒューマンインタフェース、ヒューマンコンピュータイン

タラクション、人工現実感・仮想現実感、物体検出・動き解析、生体情報処理応用システム、福祉工学のカテゴリに分かれており、ヒト・モノ・トコロを紡ぐ豊かな情報を発信するための情報技術について広く俯瞰できる内容となっている。また、本特集はHCGシンポジウム2014（2014年12月）からの推薦論文3編が含まれている。これらの研究成果が、生活空間でのヒューマンコミュニケーションにおけるICT利用に大いに貢献できるものと期待している。

なお、本特集は多くの方々の御尽力により成立した。本特集に御投稿頂いた方々、査読、編集に取り組んで頂いた編集委員及び査読委員、特に、編集幹事の石井雅博先生、木村敦先生、そして、副委員長の飯塚重善先生には多大な御尽力を頂いたことをここに記し、深く感謝する。

にいだ すまろ  
新井田 統 1996年横浜国大大学院工学研究科修士課程了。同年（株）KDD（現KDDI株式会社）に入社。以来、無線信号処理技術の研究に従事し、2006年からコミュニケーションサービスのユーザ心理評価手法や新規サービス開発手法の研究に取り組む。現在、KDDI研究所HCDプロジェクト所属。認知科学会、認知心理学会各会員。

### ヒューマンコミュニケーション～ヒト・モノ・トコロを紡ぐ豊かな情報を発信するICT～ 論文特集編集委員会

委員長	新井田	統
副委員長	飯塚	重善
幹事	石井	雅博・木村 敦
委員	青木	直史・安藤 英由樹・伊藤 史人・薄井 智貴
	岡田	将吾・小澤 史朗・川崎 真弘・川原 靖弘
	蔵田	武志・酒向 慎司・高嶋 和毅・道満 恵介
	吉田	悠・和田 親宗